



民生文教常任委員会視察



8月25日福島県会津美里町議会の通年議会制度を調査、研究しました。東日本大震災発生時、議会が開催されなかったことなどから、議会の機能を強化するため通年議会を検討してきました。平成28年1月から定例会の招集回数を年1回とする「通年議会」をスタートしました。その結果、議長の判断で必要に応じて会議を開けるようになり、議会が主体的に審議日程を決めやすくなりました。また、災害等の発生時の対応や請願・陳情への対応が早いことなど大変参考になりました。

茨城県境町議会行政視察



8月29日茨城県境町議会の学校適正化配置調査特別委員会が行政視察に来町しました。少子化による児童・生徒の減少に伴う学校適正化配置について、那須町を先進地として調査しました。

境町の人口は、約24,400人で小学校が5校、中学校2校ですが、少子化が予想を上回る早さで進行しているようです。

平久井教育長から「学校適正配置計画策定に至るまで」の説明を受けて、スクールバスの運行距離や経費、廃校になる学校の跡地利用、校舎の改修工事費用など多くの質問をして調査しました。

那須市町村議会・議長会勉強会



9月28日全国初の議会基本条例を制定し、北海道栗山町の議会事務局長を8年間勤めた現東京財団研究員の中村修氏より「全国に広がる地方議会改革」と題してご講演をいただきました。

地方議会の良否は住民の関心や、参加の度合いに左右されます。首長と並んで二元代表制の一翼を担う存在として、住民に向き合い、対話を通して地域の課題解決を図ることが求められています。その上で、議会報告会は、議会と住民をパイプで結ぶ非常に重要なインフラ整備と同意であるとのこと。議員個々の説明能力の向上、住民自治の洗練など計り知れない効果があるとのことでした。

議会報告会の開催



第4回議会報告会は、10月4日から14日までに6日間6会場において開催し、多くの町民にご参加いただきました。

町議会は、開かれた議会を目指し町民から多くのご意見・ご要望をお聞かせいただくため、3つのテーマ(①町全体のこと、②地域のこと、③議会のこと)にそって意見交換会を行いました。

昨年は、町民からいただいた230項目からのご意見・ご要望を各委員会で検討、集約のうえ、町政に反映されるよう町へ要望しました。

報告会の結果は、今後、議会だより等で報告します。